

WE are ONE 2020プロジェクト

国際ロータリー第2750地区
2019-20スポーツ文化支援委員会

WE are ONE プロジェクト 趣旨

東京オリンピック・パラリンピックを契機に
世界平和を目的として、親睦と奉仕のロータリー活動を行い
心と身体の変りを超え、感動を共有し
一つの輪となれることを皆で実感、体験する。

2019年を pre-yearと位置づけ、ラグビーワールドカップも視野に入れつつ
2020年の本開催に向け、レガシーにつながるような
具体的な活動を地区がクラブに提案・サポートする。

WE are ONE 2020 プロジェクト 活動の軸（今年度から来年度にかけて）

1. ユニバーサルマナーセミナーの開催

障がい者を介助する知識や技能を学ぶセミナーを準備し、クラブに提案・サポートする。
障がい者への声掛けをする時の心のバリアを払拭し、障がい者の介助技能を身につける。

2. ウェルカムセミナーの開催

各国の言語と文化、マナーの違いを学ぶセミナーを準備し、クラブに提案・サポートする。

3. ウェルカムバッジ マッチングサイト 作成

国内外からの訪問者とスムーズなコミュニケーションがとれるよう、
ウェルカムバッジ（上記受講バッジ含む）やマッチングサイトを作成する。
国内外の訪問者にこのことを告知する活動を行う。

WE are ONE 2020 プロジェクト

基本姿勢と対象者

▼活動の基本姿勢

- ・各クラブ、組織の実施する他の支援活動を規制するものではなく、あくまでもRotaryの支援活動の一つという位置づけ。
- ・活動は地区内にとどめない。
- ・多言語に強く、奉仕のマインドの高く、活動的なロータリーファミリーと、経験と知識に満ちたロータリアンが協力しあって活動を実施する。

▼セミナー対象者／ 地区内ロータリアンとその家族、ロータリーファミリー

▼ウェルカム対象者／

地区外の国内外ロータリアン、その家族、ロータリーファミリー
奨学生や留学生がお世話になった国内外ホストファミリーなど その他

1. ユニバーサルマナーセミナーの開催

<1> 東京パラリンピック日程と想定来場者数

- 日程：2020年8月25日～9月6日
 - 会場：右図参照
 - チケット販売数 約230万枚
 - 観客・スタッフ数1010万人
 - 観客・大会スタッフの78%+が鉄道を利用
 - 車椅子利用者の来場者数は75000人を想定
- 国土交通省HPより



1. ユニバーサルマナーセミナーの開催

<2> 現状の課題

パラリンピック会場に多くの障がい者が観戦に来るので接する機会が増える

困った時には手助けしたいが方法がわからないため声かけできない

学ぶ方法がわからない。知ってる友人もいないのできっかけがない

1. ユニバーサルマナーセミナーの開催

<3> セミナーの目的

- パラリンピック開催に向けて多様な方々の視点に立ち行動できるようにユニバーサルマナーを習得する機会を提供する。
- 障がい者の方々へのマナーを学び、バリアフリーのトイレや飲食店などへの道案内などを積極的にできるようにスキル・知識を習得する機会を提供する。
- **ユニバーサルマナー検定**合格者へRCとのコラボバッジを付与することで障がい者はマナー習得者であることを認知し相互に声かけしやすい環境づくりの一助を目指す。
- 障がい者への声掛けをする時の心のバリアを払拭し、障がい者の介助技能を身につける。

1. ユニバーサルマナーセミナーの開催

<4> ユニバーサルマナー検定とは

- 一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会が運営する検定
- ユニバーサルマナーとは、高齢者や障がい者、ベビーカー利用者、外国人など、多様な方々を街で見かける現代。私たちにとって“自分とは違う誰かの視点に立ち、行動すること”は、特別な知識ではなく「こころづかい」の一つ。
- ユニバーサルマナー検定を導入している企業・教育機関・自治体は全国で約300件以上。
すぐに取り入れ、受講後すぐに実践しやすいカリキュラム。
- ユニバーサルマナー検定を取得すると、ロゴ掲示やバッジなどのグッズでアピールが可能。
- 所要時間は2時間（講義75分、グループワーク45分） 事前学習必要なし 試験なし。
- 費用5000円/人 30名以上集まれば講師が来て受講可能だが費用負担先については今後協議。

1. ユニバーサルマナーセミナーの開催

<5> ユニバーサルマナー検定の特徴

<特徴1>

- ユニバーサルマナー実践に必要な「マインド」と「アクション」を体系的に学び、身につけるための検定。
- 声かけやコミュニケーションを行うには、多様な人々の特徴や心理状況を知ることから。その上で、ケースバイケースの適切なサポート方法を学ぶことができます。

<特徴2>

- 障害のある当事者がカリキュラムを監修。
- 車いすを押すという一つのサポートでも「かける言葉」「歩くスピード」など細かいことを工夫すると、乗っている人の安心感は変わります。
- ユニバーサルマナー検定では、障害のある当事者講師がカリキュラムを監修しています。本当に喜ばれる細やかな配慮を身につけられるのは、当事者視点ならではのこだわりと発想があるからです。
(一般社団法人ユニバーサルマナー協会HPより)

ト

1. ユニバーサルマナーセミナーの開催

<6> 合格者にコラボバッジ授与

- ユニバーサルマナー検定合格者には合格証の他にバッジを作成し検定者であることをアピール。
- ロータリークラブとのコラボバッジを作成しロータリアン合格者にバッジをつけてもらうことで学びたい人へのきっかけを支援。
- バッジ作成費用レベル
デザイン費5万円程度、制作費は個数次第
- ローテックス、ローターアクト、インターアクト、財団学友、米山学友、RYLAなど関連団体へも紹介し奉仕スキルアップ向上の支援。

コラボバッジ一例

ユニバーサルマナー × 滋賀レイクスターズコラボバッジ ロゴデザイン

01 バasketボールを持たせるデザイン



Universal Manners



記載する文言に関しては要相談

02 背景Basketボールデザイン



03 ユニフォーム着用案

